



種類別明細書(増加資産・全資産用)

※ 所有者コード ※		所有者名										枚のうち			
※ 課税標準の特例												枚目			
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等		数量	取得年月		(イ) 取得価額	(ロ) 耐用年数	(ハ) 原価残存率	※ 課税標準額		増加事由	摘要	
			年号	年月		率	コード				1	2			
01									0.				1・2 3・4		
02													1・2 3・4		
03													1・2 3・4		
04									0.				1・2 3・4		
05									0.				1・2 3・4		
06									0.				1・2 3・4		
07									0.				1・2 3・4		
08									0.				1・2 3・4		
09									0.				1・2 3・4		
10									0.				1・2 3・4		
11									0.				1・2 3・4		
12									0.				1・2 3・4		
13									0.				1・2 3・4		
14									0.				1・2 3・4		
15									0.				1・2 3・4		
16									0.				1・2 3・4		
17									0.				1・2 3・4		
18									0.				1・2 3・4		
19									0.				1・2 3・4		
20									0.				1・2 3・4		
		小計													

「初めて申告する方は「全資産用」を○で囲み全資産の申告をしてください。

自社電算により申告される方のみ記入してください。

「減価償却資産の耐用年数等に関する省令に掲げる耐用年数を記入してください。

対応する数字に○を付けてください。  
1. 新規取得  
2. 中古品取得  
3. 移動による受入れ  
4. その他

資産の種類により対応する数字を記入してください。  
1. 構築物  
2. 機械及び装置  
3. 船舶  
4. 航空機  
5. 車両及び運搬具  
6. 工具、器具及び備品

年号は対応する数字を記入してください。  
1. 明治  
2. 大正  
3. 昭和  
4. 平成  
例)平成29年5月  
「4 29 05」

摘要には、次のような事項を記入してください。  
・一括、少額償却資産に該当する場合、その旨の表示  
・申告もれの場合、その旨の表示  
・課税標準の特例がある資産について、その適用条項  
・耐用年数の変更があった場合、その旨の表示